

モデル名称	MuSEM Ver1_1.xls		
開発国	日本	開発機関 開発者	国立環境研究所 環境リスク研究センター
入手方法 (URL・価格等)	WEBから入手可(無料) http://www.nies.go.jp/risk/public/musem.html#rights		
モデルの 目的概要	<p>1994年にオランダの国立公衆衛生・環境保護研究所(RIVM)の化学物質評価グループが開発したUSES(Uniform System for the Evaluation of Substances)を基にして構築されたMackay Level III型(非平衡・定常・移流あり)の動態予測シミュレーションモデル。</p> <p>環境へ放出された化学物質について、大気、水、土壌、底質、生物等の多媒体中での挙動を予測し、さらにはヒトを対象とする健康リスク評価や環境中の生物を対象とする生態リスク評価を行うことを目指す統合アセスメント・プログラム。対象空間を3つの領域(global、continental、regional)に分け、各領域内の媒体間の挙動や領域間の物質移動をモデル化して化学物質の濃度を推定する。初期設定では、continentalとして日本列島全体、regionalとして都道府県を選択して予測することができる。</p>		
長所 ・ 有効性			
短所 ・ 活用限界			
参考文献 (文献・URL等)	1. MuSEMマニュアル http://www.nies.go.jp/risk/public/UserManual.pdf		
作成 担当者	荻戸 翔一	作成 日時	2008年 4月 27日
最終 更新者	—	更新 日時	年 月 日